

2021年度 辰巳台地区社会福祉協議会 事業計画

<活動方針>

「互いを尊重し、互いに支え合い、誰もが自分らしく活躍して暮らすことができるまち（地域共生社会）の実現をめざす」という、市原市地域福祉計画の基本理念を念頭において、辰巳台地区の福祉活動を進めていきます。

<活動計画>

○居場所づくり

(1) 通いの場「ほっとサロン」

今年度から、当初の会場である「光の子幼稚園横のセンターハウス（京葉中部教会）」に戻る予定でしたが、当分の間（数か月間）連合町会の集会所で引き続いて行うことにしました。「ほっとサロン」では、これまでは運動の他、おしゃべりや手芸などで各自が自由に過ごし、昼食をはさんで午後まで行なっていました。

しかし昨年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため時間短縮と密にならないようなメニューに変更してやらざるをえませんでした。まだしばらくの間は、同様のやり方が必要ということで、スペースの問題もあり「連合町会集会所」で実施していきます。

※センターハウスに戻る時期については、状況を見ながら判断します。

(2) 子ども食堂「トイトイ」

第3土曜日を地区社協が担当し公民館で実施していますが、新型コロナウイルス感染拡大予防に気をつけながら「会食」または「お弁当の配付」など、状況に応じて行なっていきます。そのため、新たにボランティアスタッフを募ったり、辰巳台西・大厩地区を中心にして子どもたちの参加を呼び掛けていきます。

○人材発掘・人材育成事業

コロナ禍の問題もあることから、ボランティア募集については学校側と十分に話し合っていきます。

福祉体験教室についてもコロナ禍の状況を見ながら、実施の可否を学校と話し合っていきます。

○地区行動計画推進委員会（第二層協議体）

第二層協議体を通じて、活動のツールである「(仮称)シルバーライフ便利帳」を完成させ、各種団体や地域の方の協力を得ながら、必要とする方々に届けて行きます。

また、第6次市原市地域福祉活動計画の改定に伴い、辰巳台地区地域福祉行動計画についても見直しに向けた検討を進めていきます。

○福祉バザー&福祉まつり（連合町会と共催）

コロナ禍を踏まえ、どのようなやり方なら開催できるかを検討し、実施に向けた準備を進めていきます。

○自主財源づくり事業

- ・リサイクル（資源回収）事業を実施します。また増量につながるようアピールします。
- ・賛助会員制度は、地区社協の活動を具体的にアピールすることで、増員を目指します。
- ・福祉バザー&福祉祭りの模擬店、お楽しみ券などを実施します。
- ・募金活動（黄色いレシート還付金など）を実施します。

○情報発信の強化

前年度に引き続き、地域にタイムリーな情報発信を行うために、SNS を活用し運用方法を含めた検討を行い、多くの人に見てもらえる情報発信を目指します。

○相談事業

現在、民児協と共催で行っている相談支援事業について、市原市地域福祉計画及び地域福祉活動計画の目指している方向性を共有し、今後の相談支援事業の在り方について検討していきます。

引き続き、毎月1回（第1日曜）に「よろず相談どころ」開催します。

○災害対応

連合町会等と連携した、地区社協の役割を具体的に検討していきます。

○会 議

- 総 会 : 年 1 回
 - 理事会 : 年 2 回 (福祉バザー&福祉祭りについて、他)
 - 町会長との会議 : 年 1 回 (福祉バザー&福祉まつりについて)
 - 三者役員連絡会議 : 隔月 1 回
 - 合同役員会 : 随時
 - 事務局会議 : 毎月 1 回
 - 第 2 層協議体 : (年 4 回程度)
- 検討会、実行委員会などは必要に応じて開催

○研 修

- ・ 民児協との共催で、辰巳台地区地域福祉関係者合同研修会を 2 月 6 日 (予定) に実施します。
- ・ 事務局員スキルアップのための研修会に参加
- ・ 県、市、他団体主催の研修会に参加

○関係団体との連携

- ・ 辰巳福祉ネットワーク事業への支援及び連携
- ・ たすけあい辰巳ねこの手の事業への支援及び連携
- ・ 辰巳ふれあいセンター運営委員会によるセンターの管理・運営に協力
- ・ 地域の各団体、施設の行事に参加、協力